

地域運営学校 八王子市立由木中学校

八王子市立由木中学校

令和8年2月号

(令和8年2月26日)



(3代目由木キャラ 大栗柚実ちゃん)

学校だより

季節

副校長 鈴木 啓太

そろそろ、草花が咲き始めています。オオウヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、アブラナなどがウメなどの目立った樹木のそばで咲きはじめました。春を感じる今日この頃です。

季節によって、地域によって、それぞれの環境によって生物の種類も変わってきます。八王子に住んでいると当たり前のことですが、私が10年前くらいに3年間住んでいた東京都小笠原村父島ではウメやサクラがありません。季節の変わり目はザトウクジラがやってきたとか、ウミガメの産卵が始まったとか、サンゴの産卵で歩いていても臭いがしてくるとかそういうことで1年の中で季節(?)を感じていました。

ここで少し八王子市と同じ東京都である小笠原村の父島を紹介します。北緯は約27度で亜熱帯に属しています。山の上に行けば南十字星が見られます。2011年に世界自然遺産に登録されています。東洋のガラパゴスをいわれることもあります。大陸と一度もつながったことがない「海洋島」のため、八王子では見ることのできない生物もたくさんいます。ツバメは4月～5月に見ました。また、小笠原気団とオホーツク気団がぶつかり合うところが梅雨前線です。気団の名前にもなっている小笠原です。梅雨らしい梅雨もなかったと記憶しています。

季節の感じ方もそれぞれです。八王子の春はやはり暖くなる季節なので過ごしやすくなります。春は新しい生活が始まる季節でもあります。中学校の職員室も毎年のことですが教職員が代わりまします。中学生はクラス替えがあります。卒業する3年生は中学校から離れそれぞれの道を歩むのですから、まさに新しい生活の始まりです。環境が変わる準備を進めていく時期になりました。東京のそれぞれの場所でそれぞれの準備をしていきます。一人一人が違った準備を進めていきます。自分自身でしっかりと準備を進めていってほしいものです。

さて、チャールズ・ダーウィン(1809年-1882年)は、イギリスの自然科学者で、1835年にガラパゴス諸島を訪問しました。そこでの観察を基に、進化するという考えを唱えました。そのダーウィンが言ったかどうかは定かではありませんがこんなことを言ったといわれています。

「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化に最もよく適応した者である。」



セイヨウミツハチ



父島 コペペ海岸



ザトウクジラ(父島近海で)

2月13日（金）、稲城市の稲城市立iプラザにて多摩地区の特別支援学級が集まり、劇と音楽の会が開催されました。6組では、1学期から選曲を始め、合奏の練習を約半年間にわたって練習を行ってきました。演奏をする自分たちだけでなく、鑑賞する人の気持ちも考え、「様々な年代が楽しめる」ことをテーマに選曲を行い、オリジナルのメドレーにしました。キーボードとパーカッションのパートに分かれて合奏をしましたが、初めて挑戦する楽器もあり、みんなで合わせることにとても苦労しました。「それぞれが違う役割で一つのものをつくりあげる」という機会は多くはないと思うので、今回の経験をこれからの生活に役立てほしいと思います。



2月7日（土）の道徳授業地区公開講座

1学年・2学年は「合唱祭に向けてクラスで起こった不協和音」を題材にした教材でした。授業当初は「協力する」「ふざけない」といった紋切り型の言葉も、他の生徒の発言や主人公への感情移入によって、多角的・多面的な思考へと変化します。この変化の過程が現在の「道徳」の在り方です。

ある生徒の発言「先輩たち…最優秀賞じゃないのに達成感が何であるの？」きっかけとなる発言が生まれると、思考は教師の手を離れ「生徒個々の探究の世界へ」と向かっていきました。

6組では伝統と文化を大切に作る心の醸成をねらいとして『関根さんのなやみ～ふるさとを大切にするってどういうこと？』という教材で日本の文化について考えました。「日本の文化には何がある？」という教師の発問に、生徒たちは能や雅楽、アニメ文化等幅広い発言を積極的に行いました。

3学年では『道はいつも ひらかれている』という古谷綱武さんの詩から、様々な人生観を疑似体験し、将来を見据えた「私だけの道」を言葉に綴りました。次のような言葉を3学年教室前の廊下に掲示しています。学校へお立ち寄りの際には、どうぞ御覧ください。

『道はすべての人の前にひらかれている。しかし、逃げているとその道は遠くなる。だから進め。』

『道はすべての人の前にひらかれている。しかし、分かれ道がある方が長く楽しい道となる。』

『道はすべての人の前にひらかれている。しかし、サンダルで来てしまった。だから靴をつくるよ。』

合唱祭に向けて

令和8年3月10日（火）に相模原市民会館で開催される合唱祭に向け、各クラスの代表である合唱祭実行委員は、昨年9月頃から準備を重ねてきました。最初の実行委員会では、合唱祭を成功させたいという意気込みとともに、1年を共に過ごしてきたクラスの仲間を楽しんでもらいたいという思いが語られました。半年間にわたり合唱祭を支えてきた実行委員の姿からは、責任感と温かな思いが伝わってきます。

1月末から2月初めの放課後練習では、実行委員を中心に声を掛け合いながら歌詞や音程を確かめる様子が見られ、合唱祭への高まりが感じられました。テスト後は本格的な練習期間となります。スローガン「我流天晴 ～未来へつなぐ 我らの国宝～」には、自分たちの歌声には国宝以上の価値があるという強い思いが込められています。仲間と心をつなげた合唱が会場いっぱいに響くことを楽しみにしています。

3月の主な行事予定

日	曜	学校行事等	給食				生徒会	授業数				SC
			1	2	3	6		1	2	3	6	
1	日											
2	月	特別時程 都立一般発表	○	○	○	○		5	5	5	5	
3	火	特別時程	○	○	○	○	専門委員会	6	6	6	6	○
4	水	特別時程	○	○	○	○		4	4	4	4	○
5	木		○	○	○	○	中央委員会	6	6	6	6	
6	金	特別時程	○	○	○	○		6	6	6	6	
7	土	学校公開 保護者会（全学年）	△	△	△	△		2	2	2	2	
8	日											
9	月	特別時程 合唱祭事前指導						5	5	5	5	
10	火	合唱祭 都立分割後期入試	△	△	△	△		6	6	6	6	○
11	水		○	○	○	○		4	4	4	4	○
12	木	安全指導	○	○	○	○		6	6	6	6	
13	金	卒業式予行 都立分割後期発表	○	○	○	○		6	6	6	6	
14	土											
15	日											
16	月	避難訓練	○	○	○	○		5	5	5	5	
17	火	大学連携授業（2年）	○	○	○	○		6	6	6	6	
18	水	卒業式準備	○	○	○	○		6	6	6	6	○
19	木	卒業式	△	△	△	△		4	4	4	4	
20	金											
21	土											
22	日	春分の日										
23	月		○	○	△	○		5	5	5	5	
24	火	大掃除	○	○	△	○		5	5	5	5	
25	水	修了式 離任式	△	△	△	△		4	4	4	4	
26	木	春季休業（始）										
27	金											
28	土											
29	日											
30	月											
31	火											

※始業式4月6日（月） 入学式4月8日（水）

